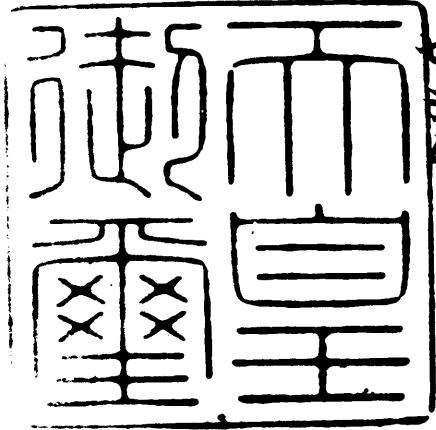


法律第十九號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル國家總
動員法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之
ヲ公布セシム

裕仁



昭和十六年三月一日

内閣總理大臣公爵

内務大臣男爵

厚生大臣

拓務大臣

陸軍大臣

外務大臣

文部大臣

商工大臣

大藏大臣

片

片

近衛文麿

平沼騏一郎

金光庸夫

東條英機

松本洋右

橋田邦彦

小林一三

河田烈

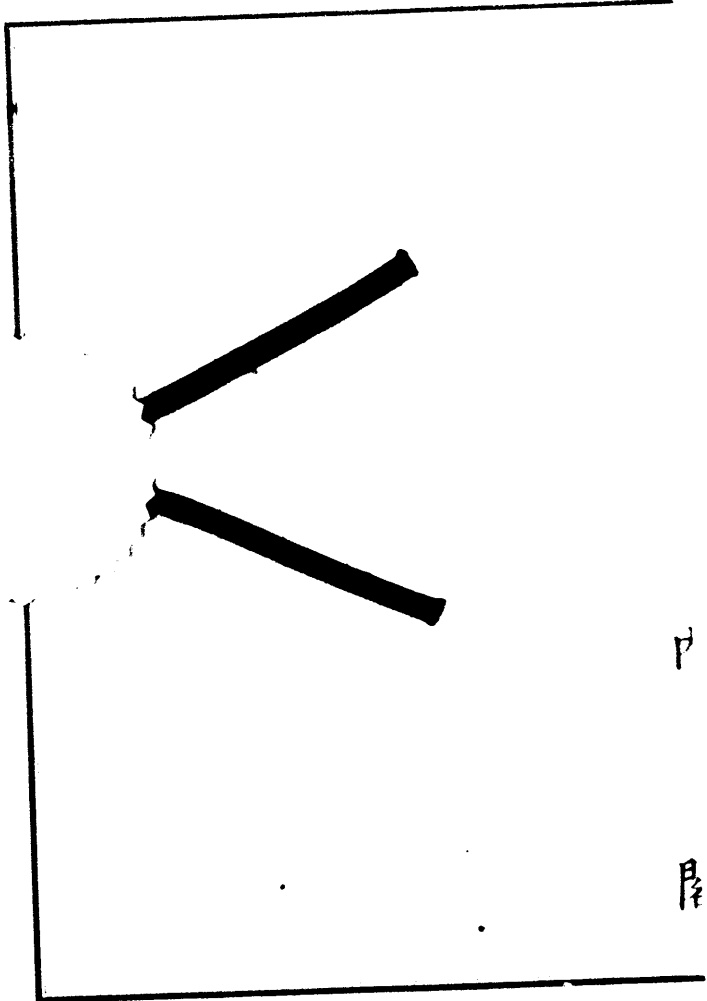
遞信大臣
農林大臣
海軍大臣
鐵道大臣
國務大臣
司法大臣

村岡菊蔵
石島忠篤
及川古之介
小川紳木
星野直樹
柳川平助

日

月

ル
月



法律第十九號

國家總動員法中左ノ通改正ス

第五條中又ハ地方公共團體ヲ「地方公共團體又ハ政府ノ指定スル者」ニ改ム

第六條中「若ハ解雇」ノ下ニ「就職、從業若ハ退職」ヲ加ヘ「賃金其ノ他ノ労働條件」ヲ「賃金、給料其ノ他ノ從業條件」ニ改ム

第八條中「總動員物資」ヲ「物資」ニ改ム

第十條中「使用又ハ收用スルコトヲ得」ヲ「使用若ハ收用シ又ハ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ之ヲ使用若ハ收用セシムルコトヲ得」ニ改ム

第十一條中「資金ノ運用」ヲ「資金ノ運用債務ノ引受若ハ債務ノ保證」ニ改ム

第十三條第三項中「土地又ハ家屋其ノ他ノ工作物ヲ管理、使用又ハ收用スルコトヲ得」ヲ「土地若ハ家屋其ノ他ノ工作物ヲ管理、使用若ハ收用シ又ハ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ之ヲ使用若ハ

收用セシムルコトヲ得ニ改ム

第十四條中「使用又ハ收用スルコトヲ得」ヲ「使用若ハ收用シ又ハ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ特許發明及登錄實用新案ヲ實施セシメ若ハ續業權、砂鑛權及水ノ使用ニ關スル權利ヲ使用セシムルコトヲ得」ニ改ム

第十五條中「前二條ノ規定ニ依リ」ノ下ニ「政府ノ」ヲ「十年内ニ拂下グルトキ」ノ下ニ「又ハ第十三條第三項ノ規定ニ依リ總動員業務ヲ行フ者ノ收用シタルモノ收用シタル時ヨリ十年内ニ不用ニ歸シタルトキ」ヲ加フ

第十六條ノ二 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡其ノ他ノ處分、出資、使用又ハ移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十六條ノ三 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ノ

開始委託、共同經營讓渡、廢止若ハ休止又ハ法人ノ目的變更、合併若ハ解散ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十七條中「總動員業務タル」ヲ削ル

第十八條、政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ同種若ハ異種ノ事業ノ事業主義ハ其ノ團體ニ對シ當該事業ノ統制又ハ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル團體又ハ會社ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令ニ依リ設立セラルル團體ハ法人トス

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ政府ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ團體成立シタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該團體ノ構成員タル資格ヲ有スル者ヲシテ其ノ團體ノ構成員タラシムルコトヲ得

政府ハ第一項ノ團體ニ對シ其ノ構成員ノ構成員ヲ含ム以下之ニ同ジノ事業ニ關スル統制規程ノ設定、變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制規程ノ設定若ハ變更ヲ命ジ又ハ其ノ構成員若ハ構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シ團體ノ統制規程ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第一項ノ團體又ハ會社ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條ノ二 第十六條ノ二ノ規定ニ依リ設備若ハ權利ノ讓渡若ハ出資ヲ命ジ又ハ第十六條ノ三ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡ヲ命ジタル場合ニ於テ讓渡者又ハ出資者ノ負擔スル債務ノ承繼及其ノ擔保ノ處理ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條ノ三 第十六條ノ二ノ規定ニ依ル設備若ハ權利ノ讓渡若ハ出資、第十六條ノ三ノ規定ニ依ル事業ノ讓渡若ハ法人ノ合併又ハ第十八條第一項若ハ第三項ノ規定ニ依リ設立セラルル團體若ハ會社ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ課稅標準ノ計算ニ關スル特例ヲ設ケ又ハ

租稅ノ減免ヲ爲スコトヲ得

第十九條中「又ハ加工賃」ヲ「加工賃、修繕料其ノ他ノ財産的給付」ニ改ム

第二十七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第八條、第十條、第十三條、第十四條若ハ第十六條ノ二ノ規定ニ依ル處分、第九條ノ規定ニ依ル輸出若ハ輸入ノ命令、第十一條ノ規定ニ依ル資金ノ融通、有價證券ノ應募、引受若ハ買入、債務ノ引受若ハ債務ノ保證ノ命令、第十六條ノ規定ニ依ル設備ノ新設、擴張若ハ改良ノ命令又ハ第十六條ノ三ノ規定ニ依ル事業ノ委託、讓渡、廢止若ハ休止若ハ法人ノ目的變更若ハ解散ノ命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス但シ第二項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

總動員業務ヲ行フ者ハ第十條、第十三條第三項又ハ第十四條ノ規定ニ依リ使用、收用又ハ實施ヲ爲ス場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償スベシ

第二十九條中「拂下」ヲ「買受」ニ改ム

第三十一條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十年以下ノ懲役又ハ五萬圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第八條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二 第十九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第三十三條中第二號及第六號ヲ削リ第三號ヲ第二號トシ以下順次一號ツツ繰上ケ

第三十四條中第三號ヲ第五號トシ以下順次二號ツツ繰下ケ第二號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

三 第十六條ノ二ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第十六條ノ三ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第三十五條中「前三條」ヲ「前四條」ニ改ム

第三十八條第一號中「組合」ヲ「團體」又ハ「會社」ニ改メ同條中第二號ヲ第三號トシ第三號ヲ第四號

トシ第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二 第十八條第六項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第四十五條ニ左ノ一項ヲ加フ

第十八條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ事業ノ統制ヲ目的トシテ設立セラレタル團體又ハ

會社其ノ他本法ニ依ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ役員若ハ使用人又ハ其ノ

職ニ在リタル者其ノ業務執行ニ關シ知得シタル法人又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏泄又ハ竊用

シタルトキ亦前項ニ同ジ

第四十六條第一項中「設立シタル組合」ノ役員其ノ職務ヲ「事業ノ統制ヲ目的トシテ設立セラレ

タル團體」又ハ「會社」其ノ他本法ニ依ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ役員又ハ使用

人其ノ擔當スル統制事務」ニ改ム

第四十八條中「第三十二條」ヲ「第三十一條ノ二」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム